

言葉と文化

金 11:00 ~ 12:00 1単位



担当教員 Instructor

桑名 保智

他3名

本間里美・三好暢博・戸塚将

到達目標

社会制度及び文化的観点から、ジェンダーについて考察し、言葉とジェンダーの関係に内在する諸問題について理解する。

言語分析という観点から、文法的性 (grammatical gender) の基本的な概念、語彙・語順と文化との対応関係について理解する。

言語相対論の概要や制度としての言葉の特質と言語普遍性に関する言葉の特質を理解する。

授業計画

トピックス

ジェンダー 文法における性

脱構築 制度としての言葉

語彙と文化、語順と文化の関係

言語相対論 「言葉」はなぜ異なるか

成績

授業終了後に提出するリアクションペーパーや課題により評価します。
3回連続で欠席した場合、通算で5回以上欠席した場合は「不可」となります。



■ 2つの色名しか存在しないダニ族という民族の画像

世界中の様々な 民族の言葉と文化を学ぶ

言葉の使用はその背景となる文化や社会制度を色濃く反映しています。

しかし、その一方で、言語普遍性に関する現象が存在することもまた事実です。

この授業では、言葉と文化をめぐる基本的論点が言語の生得的特質と後天的特質という二面性に深く関係していることを学びます。